



## 【熊本県学力・学習状況調査個人票の返却について】

令和5年12月1日に実施した1・2年生対象の『令和5年度 熊本県学力・学習状況調査』の調査結果資料が送付されました。現在、教育相談を行い【個人票】を返却しているところです。

この調査は、「児童生徒が自分の『学び』を自覚し、主体的な学習につなげることや、学校の課題把握及び児童生徒一人一人の課題克服につなげること等」をねらいとしています。

本校の学力面での結果は、1年生で国語・数学・英語、2年生で国語・英語が県平均を上回っており、おおむね良好な状態でした。2年生においては、1年生の時とほぼ同様の結果であり、皆さんの日々の頑張りが成果となって表れていました。各教科の良かったところ及び課題については、次のようになっています。

### 【良かったところ】

#### 〈国語〉

1年：文法・語句に関する事項

2年：文章を書くこと

#### 〈数学〉

1年：1次方程式

2年：式の計算

#### 〈英語〉

1年：場面に応じて書く英作文

2年：単語の並べかえによる英作文



### 【課題】

#### 〈国語〉

1年：漢字を書くこと

2年：漢字を読むこと

#### 〈数学〉

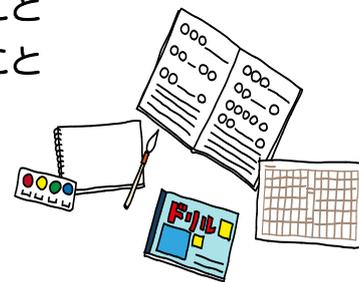
1年：文字式

2年：図形の性質

#### 〈英語〉

1年：さまざまな英文の聞き取り

2年：長文の読み取り



このことを受け、授業時間における定着のための時間確保や生徒自身が解決の道筋をたどるような授業展開の工夫、学びに向かうための学習環境の整備、将来を見据えるためのキャリア教育の充実等に努めてまいります。各教科においては、下記のとおり取り組んでまいります。

**国語**：漢字小テストに毎時間取り組んでいくとともに、既習漢字を使って作文やスピーチ原稿を作成していく活動を授業に多く取り入れていく。

**数学**：生徒が自分の考えを持てるような問いを与えながら授業を進めていく。そして、なぜそうなるのかを議論させ、生徒が主体となって問題を解決できるようにする。

**英語**：クラスルームイングリッシュを増やし、英語を聞く力をつける。(2年)  
疑問詞を使ったコミュニケーション活動を増やしていく。(1年)

**その他**：eライブラリや副教材を使った家庭学習の充実と苦手分野の復習に力を入れる。